

各地区業況アンケート結果（2019年8月調査分）

（2019年8月23日）

全国鉄鋼販売業連合会

8月23日締切で、当会役員149名に対しこのアンケートを行ったところ79名の回答があり（回答率53.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 前年同月比数量増加の企業は約2割

問1】貴社の7月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	10	6	28	20	14	78	79
比率	13%	8%	36%	25%	18%	DI-28	DI-67
売上金額/前年同月比	10	11	29	14	15	79	79
比率	13%	14%	36%	18%	19%	DI-16	DI-44

2. 黒字企業は約5割に

問2】貴社の7月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	15	24	24	13	3	79	79
比率	19%	30%	30%	17%	4%	DI+44	DI+34

3. 全向け先で減少傾向続く

問3】貴社の営業窓口から見て8月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		4	23	25	5	57	-54	-25
民間建設向	1	9	27	24	7	68	-40	-24
自動車向		1	23	11	2	37	-38	-26
その他需要家向		3	31	28	4	66	-50	-27
仲間取引	1	2	26	29	6	64	-58	-52
計	2	19	130	117	24	292	-49	-31
比率	1%	7%	44%	40%	8%			

4. 秋需も期待薄

問4】貴社における向う9月から11月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	24	38	10	5	78	78
比率	1%	31%	49%	13%	6%	DI +8	DI +8

5. 過剰ぎみ変わらず

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	品種別	A	B	C	D	E		8月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI
7	-3	3	0	0	19	11	0	0	6	0	-7	-14	鉄筋用丸鋼		1	21	10		32	-28
13	0	6	15	7	0	0	-3	0	-6	-3	-16	-18	構造用丸鋼			24	7		31	-23
0	-9	-3	0	-3	3	0	-3	3	-8	-8	-9	-18	平角鋼			28	7		35	-20
9	9	3	18	41	41	36	15	11	-8	-24	-22	-36	H形鋼		1	22	11		34	-29
67	76	81	100	125	89	120	85	57	25	12	4	-11	コラム			23	4		27	-15
-9	-8	-3	-11	5	3	-6	-11	-8	-3	-10	-14	-15	小形山形鋼			32	6		38	-16
-14	-11	-8	-11	3	3	-6	-14	-8	-15	-15	-16	-20	中形山形鋼			30	9		39	-23
-6	-11	-3	-11	5	0	-9	-11	-3	-13	-19	-17	-23	溝形鋼			30	8		38	-21
-3	0	-9	-16	-6	-14	-9	-16	-9	-3	-12	-10	-13	軽量形鋼C形			28	5		33	-15
-11	-9	0	-5	-5	-5	0	-9	0	-12	-10	-5	-5	軽量形鋼広巾			17	2		19	-11
8	4	7	12	8	12	0	-3	0	-21	-32	-34	-43	冷延薄板			11	15		26	-58
11	-3	-3	0	17	14	16	-3	-3	-21	-28	-34	-55	熱延薄板			14	17		31	-55
14	3	6	3	0	8	0	-7	-10	-32	-43	-45	-52	表面処理鋼板			15	17		32	-53
11	-3	-3	-10	20	34	16	3	0	-25	-39	-38	-44	酸洗鋼板			17	18		35	-51
7	5	7	7	20	20	18	7	0	-13	-19	-33	-50	中板			23	18	1	42	-48
10	23	31	41	49	45	36	15	17	0	-10	-29	-50	厚板			27	11	2	40	-38
0	11	25	13	33	19	6	19	5	0	-13	-12	-32	極厚板			15	5		20	-25
3	3	-3	-7	0	6	-6	6	0	0	0	-14	-19	縞板			27	4		31	-13
0	-7	2	3	16	3	0	-5	-10	-8	-18	-15	-30	中径角			31	7		38	-18
10	2	-5	0	3	8	13	2	2	-8	-8	-13	-16	ガス管黒			35	4		39	-10
3	-2	-5	-3	-3	-8	0	-5	-5	-13	-19	-5	-17	構造用鋼管			34	4		38	-11
5	2	5	5	14	14	10	2	1	-9	-15	-19	-28	計	0	2	504	189	3	698	-28

6. 秋需期待も在庫過剰感と安値散見で不安が募る

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	丸棒出荷はあるものの、加工業者は飽和状態である。ここから夏場に向け、1ヶ月に加工できる範囲の出荷が続いている。単価は横ばい。
	B	H形鋼の在庫調整が進まない。要因として中小物件が少なく、倉出出荷量が伸びないことと工期も徐々に後ろにずれてきている。販売価格も弱含みのまま様子見状態である。全般的に在庫販売は盛り上がり欠ける。
東北	A	価格が下落したため、客先は様子見になっている。新規物件が動き出してくるので、出荷は増えると思われる。
	B	受注残を減らす一方だったが、新規物件も多少増えてきた。単価は下がる一方ではないか
	C	新規の引き合い物件は相変わらず少ない。荷動き低調で販売数量は減少している。
	D	ファブはボルトの入手難により短納期物件の受注に難色をしめしているため前期ほど仕事の山は高くなく鋼材需要も高くない状況となっている。ボルト入手難が緩和される下期に期待。
新潟	A	荷動きは今ひとつである。高炉メーカーの値上げアナウンスやスクラップ価格など不安定要素はあるが、現状維持を保ち、好転を期待したい。
	B	7月、先行き盛り上がり感がない中、荷動きは微増。8月は盆休みの大型連休もあり、稼働日数が少なく懸念している。秋に期待も、さほど動きは感じられず、底堅く営業している。
	C	倉出しの数量が少なく、先々の物件見積りも少ない。
	D	漸く中小物件が出始めてきたため、稼働は向上したが、数量が上がらない。
	E	スポット、先物ともに悪い。消費税アップもあり、先が全く読めない。
	F	8月に入り、営業日が少ない影響もあり、需要停滞ムードが蔓延している。果たして9月になってどうなるか。
	G	暖房などの季節商品は増加傾向。ファブの稼働は順調だが、需要面では盛り上がり欠けている。在庫に過剰感があり、価格は踊り場状態である。
神奈川	A	天候の関係で現場作業の遅れがあるが、先月20日過ぎ頃から多少なり荷動きが戻った感がした。先行きは大きな変化に期待はないと思われるが、微増になると予想される。
	B	公共建設、民間建設は安定した受注である。また、工作機械向けの引き合いも出てきた。
	C	業界により濃淡あり。8月は稼働日数が少なく、より低迷している。先案件はあるも景気後退局面も意識した営業活動も必要か。
東京	A	鋼板類はメーカーの供給過剰の影響で在庫に過剰感があるが、店売り向けの在庫は過剰というレベルではないと思われる。メーカーがひも付きを含めて更なる値上げを実施するのに一時の過剰感から販売価格を下げてよいのだろうか。下げた分の値上げも含め苦勞するのは我々流通であることを忘れてはならない。
	B	盆明けも荷動きは低水準。特に一般材の動きが鈍く、救いは建築金物の加工、設備回りの製缶、施工に動きがあるので、社内、協力先で遊ぶことなく埋まっている。
	C	連休前の駆け込み需要もあまりなく、板関係は動きが悪い。
	D	(鋼管) 出荷量は3ヶ月連続で前年同月比マイナスとなっている。市況は弱基調だが、前月比横ばいを保っている。

東京	E	(酸洗鋼板) 営業をぬかりなく行い、販売数量、価格の維持に努めている。下期の荷動きの方が活発になってくると思うが果たしてどうだろうか。トヨタの集購価格、その他ひも付きユーザーの価格に注目している。
	F	引き続き造船向け厚板が低調。8月は稼働日数の影響もあり、全体的に荷動きは低調だが、一部の建設向けが動いており、影響が少なくなっている。
	G	(表面処理鋼板) 現況(7~8月お盆休み前)としては、お盆休みの仮需的な販売かなと思えるような状況で販売は悪くない。よってお盆休み明けに販売が激減するのではないかと不安でいっぱいである。全体的には決して良くない状況が数月続くのではと考えている。
	H	(鋼管) 予測通り7月の荷動きは回復した。物件もあるから秋需も出るだろう。この先、必要以上に弱気になる必要はない。
	I	(構造用丸鋼) 店売りの状況は厳しく低調な状態で推移している。
	J	(鉄筋) 7月の店売り販売の荷動きは良かったが、その反動で8月は厳しい状況となっている。秋需に期待している。
静岡	A	現状に大きな変化ない。大型物件の動きはあるが、倉出し主体の中小案件は低調。ボルト納期も短縮されてきているが、好転するには至っていない。在庫が膨らみつつあり、価格の動向に注意を要する展開。秋口以降の公共案件が順調に出件されることに期待している。
	B	7月中旬頃から建築案件の材料発注が増えてきた。遅れ遅れになっていた物件に漸く動きが出てきたが、高力ボルトが多少出回り始めたか。盆休み前の駆け込みもあり、足元は短納期で振り回されている。
	C	夏季休暇などで需要と供給に変化はあるものの、その実情は想像以上に悪い。引き合い、問い合わせはあるものの「休み明けで良いよ」の状況。ギアチェンジに時間がかかりそうである。営業サイドでは休み前から情報を頂いていたようだが、具体的なレベルにはならないようである。受取手形到来日に神経を使う時期ともいえるのではないかと。
石川	A	今月に入り、競合他社の鋼板全般の提示価格が、キロ2円程度下がったようだ。もともとの薄口銭からの値下げは非常に辛いものだが、全く強気になれる環境ではないので合わさざるを得ない。まもなく、大手ひも付き価格の動向が明らかになるが、たとえそれが追い風になったとしても需給バランスが改善しない限り、流通は板挟みで厳しさが増すことになるのではないかと。
	B	国際情勢の不安定と日韓国交断絶気配などで回復が遅れることが予想されるため相場不安定と需要減退で弱気が続いている。但し、国内中堅産業機械メーカーは好調さを維持している。これは人手不足をカバーする自動化、省力化、無人化、少量多品種化などの対応への装置機器類が堅調で国内景気の落ち込み不安さをカバーしている。大手ほど大変な状況で、苦しい状態がしばらく続く。
富山		地元向け、関東向けともに建築関連は減少傾向。公共土木関連工事は横ばい。(国土強靱化予算のおかげではないか) ゼネコンへ支給する韓国製HTB検査用で面倒である。
愛知	A	(鋼板) 全般的に動きが悪い。世界情勢の悪さが輸出関連に影響していると思われる。自動車は消費税上げの影響で駆け込み需要はあるようだ。8月は休みもあり、諦めムードである。9月以降に期待しているが、いい話は聞こえてこない。在庫が増えているのが気にかかる。
	B	設備の仕事が例年より少なく、これから先も不安である。Hグレード、Mグレードの鉄骨ファブの仕事はあるが、工期遅れが気になる。

愛知	C	(集購)車種によりかなり明暗あり。今後、支給材の価格改定が気になる。相変わらず求人難は続いている。(プロパー)車は設計変更の影響で数量ダウンが続いている。新規立ち上がりの案件もない状況。運送、消耗品費などコストアップ分をどうやって転嫁するか課題は多い。家具、陳列は盆休み前の駆け込み需要あり。全体的に客先の製品在庫が減少してきている。秋口需要に期待したいが、安売りしている流通が気になる。
三重	A	米中問題の影響で民間企業経営者が設備投資に慎重になってきている。先行き少し不透明になってきている。顧客の信用問題もこれから出てくると予想される。潮目が変わってきた。
	B	お盆の長期休暇分を割り引いて考えても、出荷量が少ない。同業他社の安売り合戦も目に付く。大手には値段で勝てるわけがない。負け惜しみではないが値段ばかりの商売なら誰でもできる。地域に密着し、信頼される商売を継続していきたい。
岐阜	A	昨年10～11月の荷動きがピークだったという話を聞くが、あまりに多すぎても運送便の問題で、それほど売上増ではなかった。現在、特に悪いのは工作機械である。秋需の期待もあるが、あまり盛り上がらないと予想。「更に悪化する」と発信する人も出ている。高炉メーカーの今後の価格動向も不安である。
	B	お盆休み前の急な受注もなく、例年より長い夏休みのところが見受けられた。増税前の駆け込み需要も、ほとんど動きがなさそうな気配。米中、日韓の貿易問題から先が読めなく、輸出産業に不安感がある。
大阪	A	戸建住宅は消費増増税前の駆け込みもあり、好調だが、その他の中小案件中心にハイテンションボルト不足の影響で、さっぱりと言った状況である。公共土木工事も着工が遅れぎみで9～10月頃になる物件がほとんどである。全般的にぱっとしない。
	B	7月は6月に比べ、稼働日数が4日多く、販売数量は伸びた。8月も日当たりは変わらず推移している。ただ、メーカーの販売価格姿勢は変わらないが、販売価格が安値以上に広がっているため採算は悪化している。
兵庫		厚鋼板主力なので、スクラップ価格下落の影響が収益を圧迫している。
岡山		コンビナートもステンレスのタンクが増えている。修繕の.Spanが伸びており、鋼材屋には良し悪しである。ハイテンションボルトの取り扱いは当社ではないが、聞くところによると中小のボルト屋にも多少届きだしたらしい。
香川		7月は稼働日数も増え、5月、6月の販売よりは増加したが、前年度に比べると厳しい状況である。機械関連の需要家は中国向けが厳しくなっており、需要も振るわない。8月はなんとか乗り越えて秋口の需要に期待したい。
北九州		足元の荷動きは低調および市況も安値よりである。直近、スクラップも底値感が出ており、現状価格で乗り切ることが課題である。8月も稼働日数が少ないため9月に期待している。